

重要文化財 今村天主堂ほか七基 建造物保存修理工事（第一期工事）



2025



概要

- ・明治45年に工事着手
- ・設計・施工は多くの教会堂建築を手がけた鉄川与助
- ・大正2年、海外からの寄付と信徒の勤労奉仕により、竣工

建物特徴

- ・桁行 37.14m、梁間 14.56m
- ・主要部：イギリス横の煉瓦造 内部・側廊一部：木造
- ・小屋組：木造キングポストラス 屋根：棧瓦葺
- ・平面形式：三廊式バシリカ型
- ・内部立面：アーケード、トリフォリウム、クリアストリーの三層構成
- ・煉瓦塼・門柱も併せての指定
- ・現存唯一となる八角平面の煉瓦造の双塔を持つ。

事業概要

事業名 …重要文化財今村天主堂ほか七基建造物保存修理事業
工事場所…福岡県三井郡大刀洗町大字今七百七番地
工事期間…令和七年五月一日～令和十五年二月三十一日
(第一期工事…令和十年九月三十日)

発注者 …一般社団法人 今村天主堂保存会

設計監理…公益財団法人 文化財建造物保存技術協会

施工 …松井建設株式会社 九州支店（第一期）

修理方針…部分修理

本事業は、国庫・福岡県・大刀洗町からの補助を受けて実施しています。

古写真・史料等提供のお願い
天主堂・煉瓦塼・敷地の変遷を調査しています。古写真や図面、史料等をお持ちの方はご連絡ください。

連絡先： 0942-27-8300(文建協現場事務所まで)

住所：福岡県三井郡大刀洗町大字今740-2

工事の進捗の様子を Web で公開中です。



今村天主堂保存会
公式ホームページ



今村天主堂保存会
公式Instagram

本リーフレットは、国・福岡県・大刀洗町による上記補助事業の一部として刊行しています。

一般社団法人 今村天主堂保存会

発行：一般社団法人 今村天主堂保存会

発行年：令和7年11月

作成：公益財団法人 文化財建造物保存技術協会

第一期工事

令和七年十一月現在

進捗に応じお祈りをしています。



起工式1



起工式2



祭壇取外し前



樹木伐採前

工事の進捗

(令和7年5月15日～令和10年9月30日)

① 周辺建物の撤去



階段石取り外し作業

便所・物置等の解体・石階段や内部床などの取外しを行い、地盤改良の工事の準備を行いました。

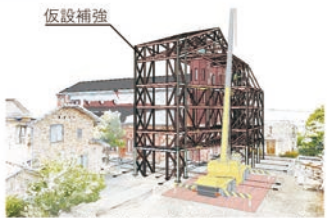
② 搬入路の確保



煉瓦大ばらし作業

元通りに復旧できるよう煉瓦塀の大ばらし（大きな固まりのまま取外し）を行い、重機などが敷地内に入るようにしました。

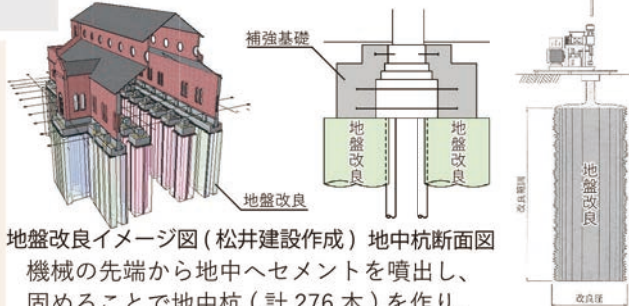
③ 双塔倒壊防止のための仮設補強



双塔倒壊防止補強イメージ図(松井建設作成)

鉄骨でフレームを作り、地盤改良工事中に双塔が倒壊しないよう仮設の補強を行います。

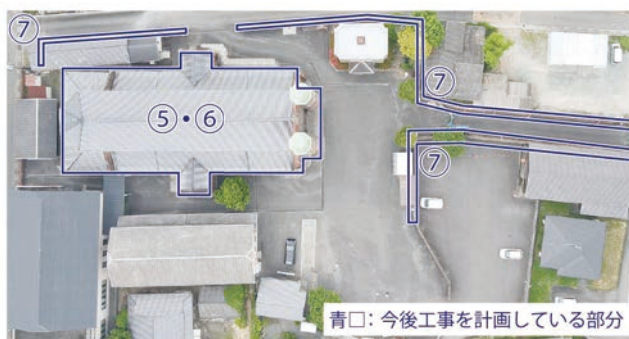
④ 天主堂地下の地盤改良



地盤改良イメージ図(松井建設作成) 地中杭断面図

機械の先端から地中へセメントを噴出し、固めることで地中杭(計276本)を作り、基礎と一体化させ、地盤を強化します。 施工イメージ図

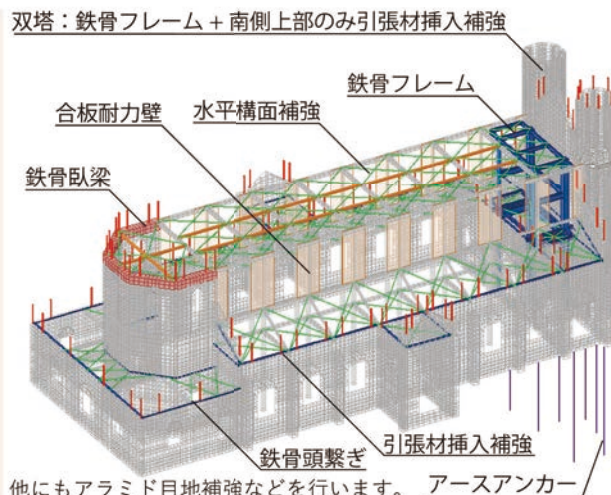
全体的工事計画



青口: 今後工事を計画している部分

第2・3期工事 (～令和15年12月31日)

⑤ 天主堂の構造補強工事



他にもアラミド目地補強などを行います。アースアンカー

⑥ 破損・劣化部の修理工事



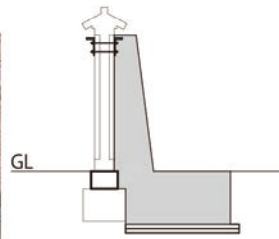
破断した煉瓦アーチ

天主堂全体の破損・劣化した部材を取り換えたり、繕うなど、文化的な修理を行います。

⑦ 煉瓦塀の補修・構造補強



ひび割れた煉瓦塀



煉瓦塀補強断面図(案)

ひび割れ等を修理した後に、転倒防止のためのバットレスを設置し、構造補強をします。



犬走の内、状態の良い部分は丁寧に取外し、元の形に復旧できるように保管します。



床など木材の部分は一枚ずつ番付をつけて丁寧に取外し、部材倉庫で保管します。



鉄骨で枠をつくり、煉瓦塀を載せ、クレーンで吊り上げて移動させている様子です。



車庫の土間の下から、遺構が現れました。現存の煉瓦塀に続きがあったと推測されます。

アスファルト下から、犬走が現れました。縁に煉瓦を使い、モルタル仕上げでした。

コンクリートで下地を作り、セメントで石最下段を固定。階段の中は真砂土詰めでした。

